

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【国際公開番号】WO2021/192037

【出願番号】特願2022-509832(P2022-509832)

【国際特許分類】

G 0 9 B 7/04(2006.01)

G 0 9 B 19/00(2006.01)

G 0 6 Q 50/20(2012.01)

10

【F I】

G 0 9 B 7/04

G 0 9 B 19/00 H

G 0 6 Q 50/20

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月9日(2022.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象の問題を解くために必要とされるスキルの習熟度を示す閾値と、学習者が有すると想定される前記スキルの習熟度とを対応付けて出力する出力手段を備えたことを特徴とするスキル出力装置。

【請求項2】

出力手段は、対象の問題を解くために必要とされる複数のスキルそれぞれについての閾値と、学習者が有すると想定される前記複数のスキルの習熟度とを、スキルごとに対応付けて出力する

30

請求項1記載のスキル出力装置。

【請求項3】

出力手段は、学習者が有すると想定されるスキルの習熟度と、当該習熟度の不確定度とを合わせて出力する

請求項1または請求項2記載のスキル出力装置。

【請求項4】

出力手段は、習熟度が閾値を充足しないスキルを特定し、特定されたスキルを必要とする問題の候補を出力する

請求項1から請求項3のうちのいずれか1項に記載のスキル出力装置。

40

【請求項5】

出力手段は、特定されたスキルを必要とする問題の候補を、当該スキルを必要とする程度に応じて順序付けて出力する

請求項4記載のスキル出力装置。

【請求項6】

出力手段は、学習者のスキルの習熟度に応じた各問題の正解確率の分布を表わすモデルを用いて、指定された前記正解確率により算出される各スキルの閾値と、閾値に対する相対的な学習者のスキルの習熟度とを出力する

請求項1から請求項5のうちのいずれか1項に記載のスキル出力装置。

【請求項7】

50

出力手段は、非補償型モデルを用いて、各スキルの閾値と習熟度とを出力する
請求項 6 記載のスキル出力装置。

【請求項 8】

出力手段は、ガウス分布で推定された学習者のスキルの状態を示す分布を用いて、当該
ガウス分布の分散を習熟度の不確定度として出力する

請求項 6 または請求項 7 記載のスキル出力装置。

【請求項 9】

コンピュータが、対象の問題を解くために必要とされるスキルの習熟度を示す閾値と、
学習者が有すると想定される前記スキルの習熟度とを対応付けて出力する

ことを特徴とするスキル出力方法。

10

【請求項 10】

コンピュータに、対象の問題を解くために必要とされるスキルの習熟度を示す閾値と、
学習者が有すると想定される前記スキルの習熟度とを対応付けて出力する出力処理を実行
させる

ためのスキル出力プログラム。

20

30

40

50